

非可食バイオエタノールの化粧品原料としての実用化について

>>>2020. 07.15

株式会社アルビオン(東京・中央区、小林 章一 代表取締役社長)は、かねてよりGreen Earth Institute株式会社(東京・文京区、伊原 智人 代表取締役CEO)と非可食バイオエタノールに関する研究開発を行ってきましたが、このほど化粧品原料として実用化が決定いたしましたのでご報告します。

アルビオンでは、2016年2月よりバイオエタノールについて研究を行なっているGreen Earth Institute株式会社と化粧品への応用について研究開発を行っておりました。この研究開発の特徴は、ポプラなど植林された森林資源、すなわち非可食植物資源から高純度に精製した化粧品用のバイオエタノールを得ることを目的としており、化粧品業界の中でもいち早い取り組みでもありました。

その結果、地球に優しいだけでなく、食料の供給に影響せず、かつ化粧品に使用可能な高品質の非可食バイオエタノール(ポプラのウッドチップを原料とした新しい発酵エタノール)の開発に成功し、このたび環境に配慮した化粧品原料として実用化、イグニス サニーサワーラインより発売する製品に配合することとなりました。

IGNIS

イグニス サニーサワー ライン

瀬戸田産レモンと、さがんルビー®、白神産ウイキョウなどの植物エキスの働きで、夏特有の肌悩み(べたつき、毛穴の黒ずみ、ごわつき、くすみetc)を解消するスキンケア。シトラスのフレッシュな香りと、みずみずしく爽やかな使用感で夏の肌を健やかに導きます。

全5品 価格2,800円~4,000円(税抜)

2020年6月18日発売



■参考

◇一般的にバイオエタノールはカーボンニュートラル※であり、地球の温暖化防止に貢献するエネルギー源として注目を集めています。一方で、サトウキビやトウモロコシなど、食料となりうる植物資源を利用することから、穀物市場における価格の高騰などを引き起こし、特に発展途上国では食糧問題に発展する場合がありますなど、多くの問題も抱えています。

◇化粧品においてエタノールは、収斂作用や品質維持などの働きがあり、多くの商品に配合されている一般的な原料のひとつです。

※カーボンニュートラル

植物由来のため、燃料として消費しても、排出された二酸化炭素は、もともとの植物が吸収した分が排出されたと考えられ、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の増加につながらないという概念です。

【Green Earth Institute株式会社 概要】

所在地：東京都文京区本郷7-3-1

創業：2011(平成23)年9月1日

資本金：4億9,800万円

代表：伊原 智人 代表取締役CEO

主な事業：革新的なバイオリファイナリー技術を活用した、各種バイオマス为原料とするグリーン化学品の開発・事業化